

この人は、私のおばあちゃん。

おばあちゃんが料理しているときね、私からはおばあちゃんの背中とエプロンの二本のひもだけが見えるの。私の弟のキットは、そのひもを引っ張るのが好きでね。おばあちゃんは、そのことでキットを怒ったりしない。

おばあちゃんは料理台から私たちのほうへ向いて、クルトンをご馳走してくれるのよ。おばあちゃんのクルトンは世界一美味しい。なぜかってそれはね、おばあちゃんはクルトンを絶妙な塩味で作れるから。ママは、体に悪いって言うけれど、信じられないよ。ママはただ、クルトンを食べても何も体にとっていいことにならないことを心配しているんだと思う。